

## 市民協働のまちづくり活動応援補助金活用事業 「造賀を語ろう！プロジェクト」中間報告

来春の冊子発行を目指して、造賀の歴史、文化、自然、建造物などの資料を集め、精力的に学んできました。これまでに公開講座2回、現地見学会3回、内部学習会5回などを実施、ようやく冊子の全容が見えてきたところです。

### ●地域の祈り

神社やお寺はみんなの知るところですが、地域を歩いてみると薬師堂や観音堂などが散在していました。棟札が保存されているところもありました。

思ってもみなかった、身近にある仏様、篤信の心に触れることができました。



薬師如来坐像（下野原）



薬師如来立像（下有田）



聖観音坐像（武則）



恋文字の観音様  
高さ92cm(台座含む)



おそばや観音様（中山根）



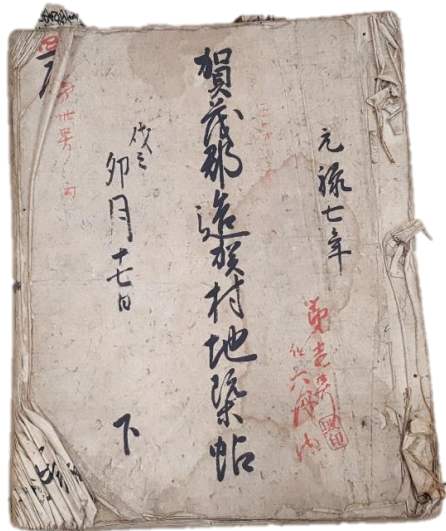
安政4年の棟札



## ●古文書 発見！

「造賀を語ろう！プロジェクト」の活動が佳境に入った令和3年7月、造賀小学校の校長室で古文書が2点発見されました。

古文書は「賀茂郡造賀村地築帖 下 元禄七年戌之卯月十七日」と「第八大区拾三小区造賀村 字上野原野取図」です。



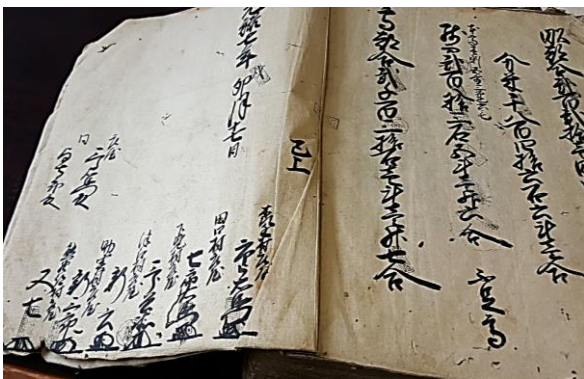
### 賀茂郡造賀村地築帖 下 じつきちょう 第壹集 但六冊内 第Ⅲ号ノ丙 検印

元禄七年（1694）は、広島藩浅野氏の治世下にありました。

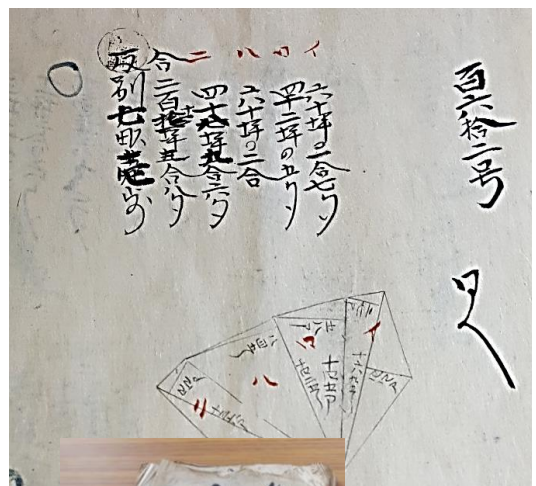
浅野氏は実質的な石高を上げるために新田開発や大規模干拓事業を進めました。

また、寛永地詰や正保地詰など、たびたび地詰（藩が非公式に行う検地）を実施しています。

地築帖は、その関連資料と思われませんが、詳しくは今後の調査が待たれます。



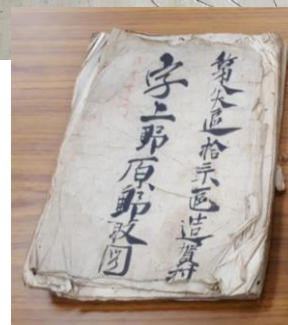
巻末に本村の庄屋2名と、賀茂郡内の庄屋6名の名前があります。



### のとりず 字上野原野取図

野取図とは、明治時代の地押丈量調査において一筆（地主）ごとに、土地の位置 形状 地番面積を記載したものです。

明治政府の土地台帳管理の基となったものです。大区・小区制は廃藩置県後の地方行政制度です。



第8大区は賀茂郡  
第13小区は松山、大畠、稲木、杵原、造賀

2点ともに年貢や租税の算出上、大切な資料です。

これらの古文書は、昭和33年4月に造賀村が高屋町と合併した際、造賀村役場から造賀小学校に移管されたとみられますが、これも定かではありません。

半年を経て冊子の体裁が見えてきましたので、造賀を語る良い冊子になるよう、これよりは編集作業に傾注してまいります。タイトルは「ふるさと造賀」です。